

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	個々の利用者の生きがいや自立支援をさらに考えた支援により、安心してすごして頂く必要がある。	利用者の尊重と自立支援の視点を常に考えた支援ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の担当職員が中心となって、『重点ケアプラン』の作成と明示を行い実施する。 ・残存能力の活用や生活リハビリを中心としたプランを考える ・グループホームで過ごして頂く利点(効果、メリット)を利用者と職員が共に感じる。 	12ヶ月
2	13	職員の経験不足や力量不足による、ヒヤリはつとや、事故がある。	1年間で基礎介護力を向上させ、利用者により安全で安心してすごして頂く。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1つ介護の基本姿勢の目標を立てて全員で取り組む ・1ヶ月後、会議にて振り返りと評価反省を行う 	12ヶ月
3	6	グループホームの玄関には安全を考えて、鍵がかかっており、利用者が自由に出入りすることが出来ない。	利用者が施錠による閉塞感を感じずに過ごせる	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の中で職員の多い時間帯等で、鍵を開ける時間を設ける。 ・外に行きたい等の希望時は職員が付き添う。 ・不安感の根本となる原因や理由を解消し、安心してすごして頂く。 	12ヶ月
4	45	湯船に浸かっての入浴困難者には、シャワー浴を実施しているも、爽快感や満足感が十分ではない。	重介護の方にも入浴による爽快感や満足感を感じて頂く。	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の利用や介護技術の向上により、湯船に浸かれる対象者を増やす。 ・月に数回デイサービスのチェアーインバスを利用した入浴を実施する。 	12ヶ月
5	35	地震災害時に向けての避難訓練や備蓄が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の避難訓練を実施し、落ち着いた行動ができる。 ・備蓄品を整え、万が一の時に対応ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震を想定した避難訓練を年2回実施する ・年度内に倉庫を建て、備蓄品を整える。 	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。